

れい わ ねん がつ なのか げつ ぜんこうちょうかいこうちょうこう わ  
令和6年10月7日(月)全校朝会校長講話  
は ひ そら み あ  
晴れた日には、空を見上げて

が つ はい あき は かぜ すず かん  
10月に入り、すっかり秋めいてきました。晴れても、風を涼しく感じますね。

こうちょうせんせい は ひ そら み あ くも なが す あきば  
校長先生は、晴れた日に空を見上げて雲を眺めるのが好きです。秋晴れの  
ひ そら くも くも くも なつ み さまざま かたち くも  
日の空には、うろこ雲やひつじ雲、すじ雲など、夏には見られない様々な形の雲  
み  
を見ることが出来ます。

くも き い なが くも み  
「あの雲はどこから来て、どこへ行くのかな。」と、流れる雲を見ていると、すっ  
きりとは ば きぶん じどう どうろ  
きりと、晴れ晴れとした気分になっていきます。ただし、児童のみなさん、道路や  
こうさてん そら み あ じどうしゃ じてんしゃ  
交差点などで空をじっと見上げていると、自動車や自転車にぶつかることもあ  
るので、やめておきましょう。

あき そら は あめ ふ か  
さて、秋の空は、晴れたり、くもったり、雨が降ったりと、ころころと変わりやすい  
い ひと こころ おな こうちょうせんせい かんが  
と言われています。人の心も同じかな、と校長先生は考えます。

あめ う ともだち み かさ ひら さ だ ひと  
雨に打たれている友達を見かけたら、そっと傘を開いて差し出せる人になっ  
てほしい。こうちょうせんせい ねが はなし お  
てほしい。校長先生は、そう願っています。お話、終わります。